

Dolby

Dolby Surround Tools 3.0



FEATURES

Dolby Surround Tools

- Encoder及びDecoder TDMプラグイン
- Pro Toolsのマルチチャンネル・トラックをサポート
- 最高96 kHz サンプル・レートをサポート
- Dolby Surround Tools 2.0と下位互換
- マルチチャンネルDSPシェアリング・テクノロジーをサポート
- Pro Toolsで完全リロール

Dolby Surround Encoder TDMプラグイン

- Dolby Surroundエンコード処理をデジタル上で実現
- 業界標準であるDolby SEU4 & DP563ハードウェア・エンコーダーのサラウンド・エンコード処理に適合

Dolby Surround Decoder TDMプラグイン

- Dolby Pro Logicデコード処理をデジタル上で実現
- 業界標準であるDolby SDU4 & DP564ハードウェア・エンコーダーのサラウンド・デコード処理に適合
- Mono, Stereo, Dolby Surround モニタリングをモード選択可
- キャリブレーション・モニタリング&サラウンド・ディレイ・コントロール
- センター・スピーカー・モニタリング・オプション

Dolby Down Mixer TDMプラグイン

- 5.1または5.0ミックスを瞬時にLCRSフォーマットへダウンミックス(5.1ミックスの6チャンネルを4チャンネルLCRSミックスヘルート&ミックス)
- 出力をPro Logicエンコーディング用にEncoderへパス可能

膨大な数のホーム・シアターやマルチメディア・システムがDolby Surround再生に対応するに従い、サラウンド・エンコードされたプログラミングの要求も増大しています。Dolby Surround ToolsによりMac及びWindowsベースのPro Tools® TDMシステム上で、ビデオやDVD、広告スポット、マルチメディア、CD、そしてビデオ・ゲーム向けのDolby Surroundミックスを完全にPro Tools®環境内で作成可能です。

Dolby Surround Toolsにより、Pro Toolsワークステーションのユーザーは、より効率的にサラウンド・ミックスを作成できます。D-to-A & A-to-D変換は不要となり、Dolby Surroundエンコーディング&デコーディング処理は、業界標準モデルのDolby Model SEU4 & DP563ハードウェア・エンコーダー及びDolby Model SDU4 & DP546ハードウェア・デコーダーに適合しています。また、Pro Toolsのマルチチャンネル・トラックも最高96kHzまでのサンプル・レートでサポートしています。

Dolby Surround Toolsはマトリクスエンコードされた劇場公開用映画サウンドトラックのファイナル・ミキシング用にデザインされたものではありませんが、その後映画の最終ミックスで他の要素と結合されるディスクリット4チャンネル・オーディオ・トラック(L, C, R, S)上でプロセスの結果(4-4モニタリング)をプレビューすることが可能です。これは、劇場公開用映画の制作作用に日常的に4チャンネル・サウンド・エフェクトや音楽レコーディングを供給するファシリティーには、非常に便利な機能です(Dolby Laboratoriesは最終フィルム・マスタリング用に専用フィルム・サウンド・エンコーダーの供給を継続します)。

その上、クライアントはDolby Laboratoriesから著名なDolby Surroundの商標を簡単かつロイヤルティ無しに取得でき、それを製品やパッケージに使用できるので、マーケティング面でも大きなメリットがあります。

マルチメディア&ゲーム・ディベロッパーは、ゲーム中に画面のアクションに反応して移動するモノ・サウンド・エフェクトの前処理に、ゲーム/モード機能を使用できます。ゲーム・モード・ポジションナーにより、制作時のビデオ・ゲーム・コントローラーの、信頼度の高いモニタリングをエミュレーションできます。

新しく追加されたDown Mixerプラグインにより、ミックスの準備段階で5.1または5.0ミックスを瞬時にLCRSにダウンミックスできます。このプラグインは5.1ミックスの6チャンネルをLCRSミックスの4チャンネルにルーティング&ミキシングし、出力はPro Logicエンコーディング用にEncoderトラックへパスできます。

Dolby Surround® について

Dolby Surroundは通常のステレオ・プログラム・ソースで4チャンネルの情報を伝達可能とする、フェイズマトリクス・エンコード/デコード・プロセスです。元来は映像用サウンドのフォーマットとして開発されたもので、チャンネルは前方に3つ(Left, Center, Right)用意され、また4番目のチャンネル(Surround)はリスニング・エリアの側方及び後方のスピーカーにより再生されます。

Dolby Surroundサウンドトラックは制作時にエンコードされ再生時にデコードされるため、プロデューサーは非常にリアルスティックなリスニング体験ができるよう定位や移動を作成できます。

Dolby Surroundは高音質サラウンド・オーディオの標準となっており、何千万台もの再生システムが世界中の家庭で使用され、またエンコードされたフィルムやTVプログラムも多数存在します。

システム必要環境

Digidesign 推奨 Pro Tools TDM システム

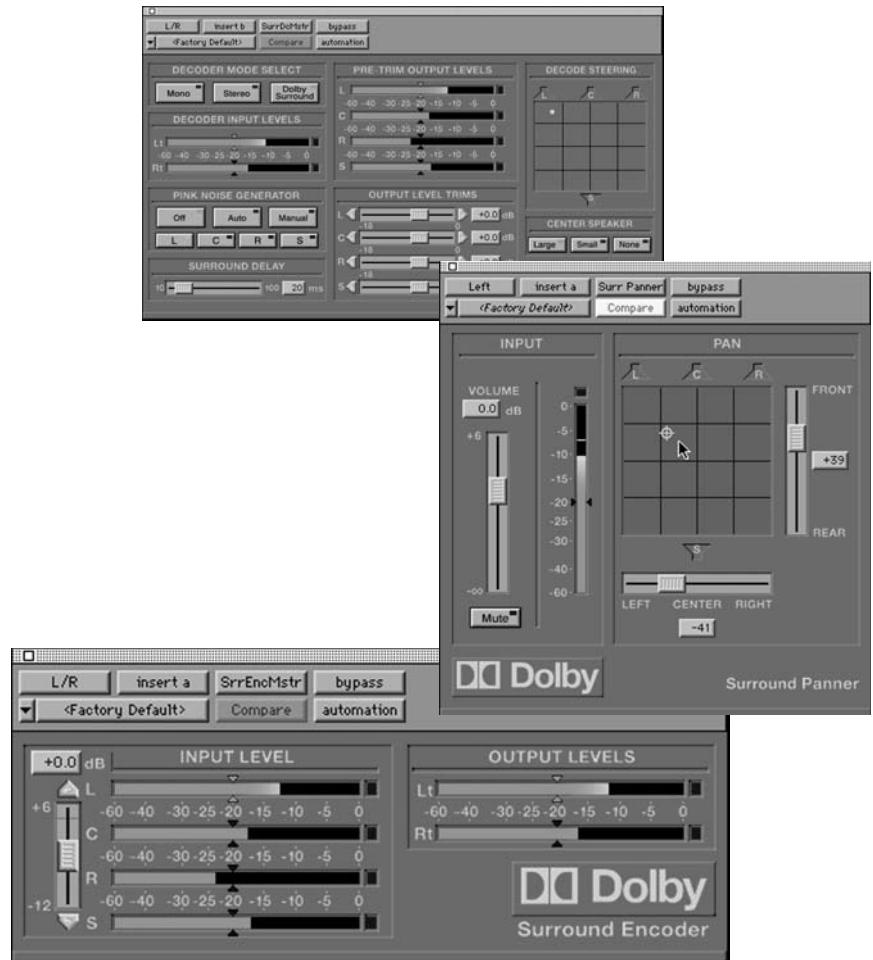
最新のDigidesign製品情報とシステム必要環境はwww.digidesign.comをご覧ください。

開発パートナー製プラグインとソフトウェアの最新情報はwww.digidevelopers.comを参照ください。

+Dolby Surroundの情報はDolby Laboratories Incにお問合せください。

Dolby

Dolby Surround Tools 3.0



©11/02. Digidesign, DSP Farm, Pro Tools, Pro Tools | 24 MIX 及び Pro Tools は、Avid Technology, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標です。Dolby とダブルD記号は Dolby Laboratories の登録商標です。Mac OS は Apple Computer, Inc. の登録商標です。Windows は Microsoft Corp. の登録商標です。他の商標は各所有者の所有物です。全ての機能と仕様は予告無く変更される場合があります。

デジデザイン・ジャパン
アビッドジャパン株式会社

〒107-0052
東京都港区赤坂 2-11-7
ATT 新館ビル 4F

Tel 03.3505.7963
Fax 03.3505.3417
Email infojp@digidesign.com

www.digidesign.com
www.avid.co.jp

A division of **Avid**